



編集・発行

社会福祉法人  
沖縄県社会福祉事業団〒903-0804 那覇市首里石嶺町4丁目373番地1  
TEL.098-884-3173 (代) FAX.098-882-5688✉ o.fukusi@okinawa-j.jp  
🌐 http://www.okinawa-j.jp/

福祉従事者には、利用者が安心した生活を送ることができるよう、職員一人ひとりの対人援助技術に加え、権利擁護の視点が求められます。そこで、虐待・身体拘束等の権利侵害の防止につながる視点を学び、自分自身の行動の振り返りや自施設の支援を点検しながら、真のニーズに基づくより良い支援について考えることを目的に、権利擁護研修を開催しました。

毎日新聞社論説委員の野澤和弘氏を講師にお迎えし、6月6日、7日に那覇市、読谷村、宮古島市の3会場で150名余の職員が受講しました。

野澤氏の障害者施設における虐待事件の取材活動や、自閉症の子をもつ親としての体験など、リアルで多角的な視点からのお話しさは、終始、受講者の心に突き刺さるものとなりました。

どこでも虐待の芽は生まれるということが、日頃から職員は支援者として「規範」「モラル」の感性、相手の立場になって考える謙虚さをもち、虐待の小さな芽を放つておかない風通しの良い職場環境が権利侵害の防止において重要であるとのお話しがありました。

また、利用者の行動について、利用者の思いや背景を理解したうえでアセスメントを行い、利用者の強みを活かした支援ができる対人援助技術の重要性を改めて学ぶ貴重な機会となりました。

福祉従事者には、利用者が安心した生活を送ることができるように、職員一人ひとりの対人援助技術に加え、権利擁護の視点が求められます。そこで、虐待・身体拘束等の権利侵害の防止につながる視点を学び、自分自身の行動の振り返りや自施設の支援を点検しながら、真のニーズに基づくより良い支援について考えることを目的に、権利擁護研修を開催しました。

毎日新聞社論説委員の野澤和弘氏を講師にお迎えし、6月6日、7日に那覇市、読谷村、宮古島市の3会場で150名余の職員が受講しました。

野澤氏の障害者施設における虐待事件の取材活動や、自閉症の子をもつ親としての体験など、リアルで多角的な視点からのお話しさは、終始、受講者の心に突き刺さるものとなりました。

どこでも虐待の芽は生まれるということが、日頃から職員は支援者として「規範」「モラル」の感性、相手の立場になって考える謙虚さをもち、虐待の小さな芽を放つておかない風通しの良い職場環境が権利侵害の防止において重要であるとのお話しがありました。

また、利用者の行動について、利用者の思いや背景を理解したうえでアセスメントを行い、利用者の強みを活かした支援ができる対人援助技術の重要性を改めて学ぶ貴重な機会となりました。

## 権利擁護研修（報告）



# 平成30年度 決算報告

## 資金収支計算書

(自)平成30年4月1日 (至) 平成31年3月31日 (単位:千円)

勘定科目 大区分		決算額
事業活動	事業活動収入計	4,274,620
	事業活動支出計	3,994,751
	事業活動資金収支差額	279,869
施設整備等	施設整備等収入計	1,160
	施設整備等支出計	55,330
	施設整備等資金収支差額	△ 54,170
その他の活動	その他の活動収入計	31,829
	その他の活動支出計	129,593
	その他の活動資金収支差額	△ 97,764
当期資金収支差額		127,935
前期末支払資金残高		841,028
当期末支払資金残高		968,963

## 事業活動計算書

(自)平成30年4月1日 (至) 平成31年3月31日 (単位:千円)

勘定科目 大区分		決算額
サービス活動	サービス活動収益計	4,253,649
	サービス活動費用計	4,088,624
	サービス活動増減差額	165,025
サービス活動外	サービス活動外収益計	20,971
	サービス活動外費用計	15
	サービス活動外増減差額	20,956
経常増減差額		185,981
特別増減	特別収益計	3,823
	特別費用計	3,290
	特別増減差額	533
当期活動増減差額		186,514
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	2,538,538
	当期末繰越活動増減差額	2,725,052
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	1,622
	その他の積立金積立額	193,185
次期繰越活動増減差額		2,533,489

## 貸借対照表

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	当年度末	科目	当年度末
流動資産	1,201,158	流動負債	392,186
		固定負債	441,121
徴収不能引当金	△ 1,523	負債の部合計	833,307
固定資産	9,014,988	純資産の部	
		基本金	10,000
		国庫補助金等特別積立金	5,049,970
その他他の積立金		その他の積立金	1,789,380
その他の固定資産	2,601,760	次期繰越活動増減差額(うち当期活動増減差額)	2,533,489 (186,515)
		純資産の部合計	7,653,400,217
		純資産の部合計	9,382,839
資産の部合計		負債及び純資産の部合計	10,216,146

介護職未経験ということもあります。入職当初は知識もなく自分に介護職が務まるか、と不安な気持ちがありましたが、先輩方の丁寧なご指導があり、ここまで頑張る事が出来ました。

これから先、問題に直面することもあると思いますが、周りの方々の協力を得ながら学び、吸収し自分のペースで少しづつ成長していけたらと思います。

向上心を忘れず、知識と技術を習得すること、相手の気持ちを理解しようとする姿勢、寄り添い支えたいという気持ちを大切にし、利用者の笑顔を守れる介護員を目指したいと思います。



平安山 静華  
北嶺学園介護員

今回の研修でたくさんの事を学びましたが、その中でも最も印象に残っているのが他施設への訪問です。今回、北嶺学園に行かせて頂きました。北嶺学園はADL(日常生活動作)の高い方が多い印象でした。そのため療育園とは違った面での利用者への注意点や問題点があることに気付き、同じ事業団でも施設によって支援する視点が変わることだと感じました。入職して8か月。病院勤務経験しかない私にはまだ新鮮な事が多く日々勉強の毎日です。今後、病気や障がいの部分だけではなく、一人一人に寄り添った生活援助に視点を向け関わっていきたいと思います。



仲間 彩  
医療型障害児入所施設  
沖縄療育園看護師

令和元年5月16日、当法人の管理職としての心構えや法人の現状、管理業務についての考え方を理解し、実務内容を取得するべく新任課長研修を受講しました。金城理事長より、管理者が部下職員に伝えるビジョンの重要性「三人のレンガ職人話」や役割として、組織の指揮管理調整機能を持ち問題点を継続的に改善していくこと、石川常務理事より、福祉従事者として今、私たちが何をするべきかを学び、これから時代に応じたことが成せるように、職員や利用者の声をしっかりと聞き、管理課長の役割を担い努力していることを思いました。



宇座 正市  
児童養護施設  
管理課長

管理職の立場として、指揮監督・人材育成・組織目標の達成と新たな業務が加わり、役割・職務は重責だと改めて実感しています。新任管理者研修を通して、法人の経営理念・経営方針・経営目標を再確認することができました。

平成31年4月より宮古厚生園管理課長に就任しました濱川と申します。新任管理者研修を通して、法人の経営理念・経営方針・経営目標を再確認することがで



濱川 誠士郎  
養護・特別養護老人ホーム  
宮古厚生園管理課長

新任職員研修を受講して

新任課長研修を受講して



## 監事就任あいさつ



一年中咲くハイビスカスの鮮やかさが一段と増す時期となりました。当施設のご利用者様やご家族様をはじめ、地域・関係機関の皆様におかれましては、障害者支援施設 都屋の里に温かいご支援とご協力いただき、心からお礼と感謝を申し上げます。

この度、平成31年4月1日付けにて、都屋の里の施設長に就任しました。

この度、監事に就任いたしました宮城光宏と申します。前監事は、長年にわたり社会福祉法人沖縄県社会福祉事業団が設置経営する十

三の社会福祉施設の監査業務に誠心誠意尽くされてまいりました。その監査視点は、「一般的なチェック項目は勿論のこと、施設利用者の目線に立ち、利用者各人のニーズに合った或いは配慮された支援がなされているかを常に念頭に置きながら業務に従事してきたと聞いております。私も前監事の考え方を基本的に踏襲しながら監事業務に従事していく考えであります。各施設職員及び事務局の皆様方のご協力を願い申し上げます。

これまで、児童福祉関係に若干関わってまいりました。その経験も生かしながら利用者の安全・安心等が確保されるような支援について、一緒に考えることができたらと思います。皆様方のご指導よろしくお願い申し上げます。

## 施設長就任あいさつ



## 施設長就任あいさつ



この度、八重山厚生園園長に就任いたしました上地と申します。平成26年3月に石垣市役所を退職、平成27年から平成29年の3年間石垣市社会福祉協議会で勤務し、1年ぶりの仕事復帰となりました。

長い歴史を誇る八重山厚生園の長としての責任の重さを痛感し、無事に勤めることができますのかと不安ではあります

この度、ご縁がありまして平成31年4月にうるま婦人寮長に就任いたしました吉川と申します。平成16年頃県在職時に、うるま婦人寮の一部改修工事に携わったことがありました。が、赴任してみると見事に全面新改築され、素晴らしい住環境となつております。きと喜びを感じているところです。

うるま婦人寮は、DV等様々な理由で、家庭環境の破綻や生活困窮等により困難な問題を抱えた女性やその同伴児を保護し、その自立を支援する施設です。

入所者の立場を十分に理解し、生活者の視点に立ち、その不安感や孤独感を和らげ安全に安心して暮らせる場を提供し、落ち着いた環境の中で自立を支援し入所者と職員が暖かい雰囲気の中で共生・共学することができたらと考えておりますので、ご支援とご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

寮職員同士で支えあい関係機関の皆様と協力し、微力ながら職務遂行する所存です。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

## 施設長就任あいさつ

